

北山文化と東山文化

名前 _____

_____ 月 _____ 日

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

今日の問い

北山文化と東山文化には、それぞれどんな特色があるのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 北山文化

足利義満の文化

17

あしかがよしみつ
足利義満

室町幕府の3代将軍。京都の北山に金閣を建てた。

2

足利義満が京都の北山に建てた3層の建物。鹿苑寺という寺にある。

18

かんあみ ぜあみ
観阿弥・世阿弥

能を大成した親子。足利義満の保護を受けた。

3代将軍の足利義満は南北朝を統一し、幕府の力を安定させた。このころ、京都では公家の文化と武家の文化がまじりあった文化が栄えた。これを、義満が京都の北山に建てた建物の名から ¹ 北山文化 という。義満が建てた ² 金閣 (³ ろくおんじ 鹿苑寺) は、3層それぞれにちがう建築様式を用いた建物である。

義満は日明貿易で大きな利益を得て、陶磁器や絵画などの ⁴ からもの 唐物 を集めた。こうした富も、北山文化を支える土台になった。

このころ、 ⁵ さるがく 猿楽 などをもとに、歌と舞で物語を表す ⁴ 能 が、 ⁵ 観阿弥 ・ ⁶ 世阿弥 の親子によって大成された。能の合間には、民衆の生活などを題材にし、ふだんの話し言葉を使ったこっけいな劇である ⁷ 狂言 も演じられ、身分をこえて親しまれた。

2 東山文化

足利義政の文化

8

室町幕府の8代将軍。京都の東山に銀閣を建てた。

12

たたみ・ふすま・床の間などを持つ建築様式。今の和室のもとになった。

14

墨の濃淡で自然などを描く水墨画を大成した禅僧。

8代将軍の ⁸ 足利義政 のころには、禅宗の影響を受けた、簡素で落ち着いた趣の ⁹ 東山文化 が栄えた。義政が京都の東山に建てた ¹⁰ 銀閣 (¹¹ じしやうじ 慈照寺) と同じ敷地にあ ¹² とうぐどう 東求堂 の一室は、 ¹² 書院造 の代表として知られる。

書院造は、部屋いっぱい ¹³ しやうじ 障子 にたたみを敷き、ふすまや障子で部屋を仕切り、床の間やちがい棚を設けた建築様式である。この様式は、のちの武家や町人の住まいに取り入れられ、今の和室のもとになった。

このころ、墨の濃淡で自然や人物を描く ¹³ 水墨画 が発達し、明にわたって絵を学んだ禅僧の ¹⁴ 雪舟 が大成した。庭園では、水を使わず石や砂で山や水の流れを表す ¹⁵ 枯山水 の庭がつくられ、 ¹⁶ りやうあんじ 竜安寺 の石庭がその代表として知られる。

文化	将軍	代表的な建物	特色
北山文化	足利義満	金閣(鹿苑寺)	公家と武家の文化がまじる
東山文化	足利義政	銀閣(慈照寺)	禅宗の影響を受けた簡素で落ち着いた趣

できた / 18